

次期総合計画の検討プロセス

次期総合計画策定の方向性

- ◆策定の背景：人口減少と超高齢社会、持続可能な行政経営、技術革新の進展、市民自治都市の実現
- ◆策定にあたっての4つの視点：①市民みんなの総合計画（市民自治都市の実現）②行政経営の強化
③岸和田市総合戦略との一体化とSDGsとの連動 ④技術革新がもたらす社会と技術の活用
- ◆計画の構成と期間：基本構想（12年間）・基本計画（4年間）・総合戦略で構成 など

各種調査など

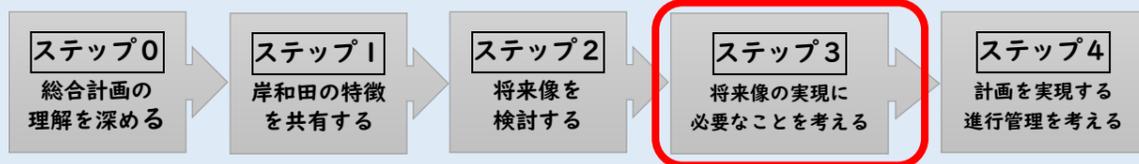
基礎調査（岸和田市の特性等の整理、各種統計データの整理・分析、各種意向調査からみる岸和田市の現状と市民ニーズ、社会経済動向の把握・分析、行政評価分析、上位・関連計画の整理）

各種アンケート調査（一般、若者・子育て世代、地区市民協議会、職員を対象にそれぞれ実施）

事業者・団体ヒアリング（市内で活躍している事業者や団体・グループ等を対象にヒアリングを実施）

第4次総合計画の振り返り（これまでの成果とこれからの課題を整理）

まちづくり市民懇話会（通称とことん懇話会、令和2年度～）



アクションとプレイヤーについての議論

- 市や地域に必要と考えられる具体的な取組（アクション）と、その取組を進める主体（プレイヤー）について議論
- 基本計画検討の基礎資料として、アクションとプレイヤー（課題に対する取組、各主体の関わり）、想定される効果について整理

個別目標と個別目標の方向性についての議論

- 将来像を達成するための基本目標をさらに細分化した「個別目標」と、その進め方を表す「個別目標の方向性」について議論し体系案として整理

基本構想（骨子案・素案）

これまでの議論を踏まえ、

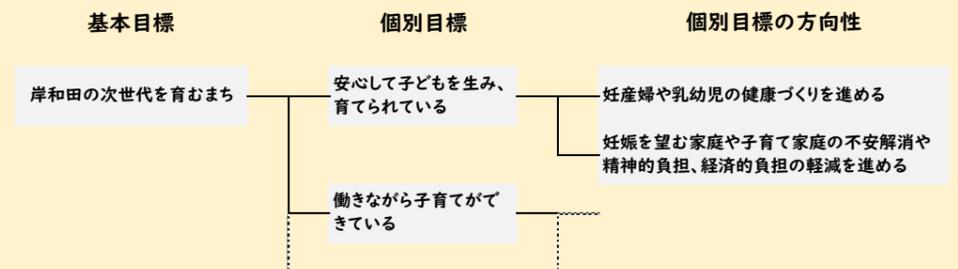
- ◆ 12年後の将来像
- ◆ 将来像を実現するための6つの基本目標
- ◆ 岸和田を強くする“3つの視点”等を整理

基本計画骨子案

基本計画の体系について

- ◆ 基本計画では、基本構想素案で位置付けた「将来像」「基本目標」等を踏まえ、基本目標をさらに細分化した「個別目標」とその進め方を表す「個別目標の方向性」を設定

<設定イメージ>



個別目標ごとの整理（見開きページ）について

- ◆ 個別目標を取り巻く現状やめざす状態などを明らかにするため、以下の項目について整理し、基本計画の見開き1ページとして示す。

- ・ 個別目標
- ・ 現況と課題
- ・ みんなでめざそう値
- ・ 個別目標の方向性
- ・ 公民の役割分担
- ・ 関連する分野別計画
- ・ SDGsとの関連
- ・ 総合戦略との関連

重点的に推進する個別目標（重点施策）について

- ◆ 限られた資源を有効活用するため「選択と集中」の観点から、基本計画の期間内に重点的に推進する個別目標（重点施策）を明らかにする。

※重点的に推進する個別目標（重点施策）の検討手順・内容については、今後検討を進める。